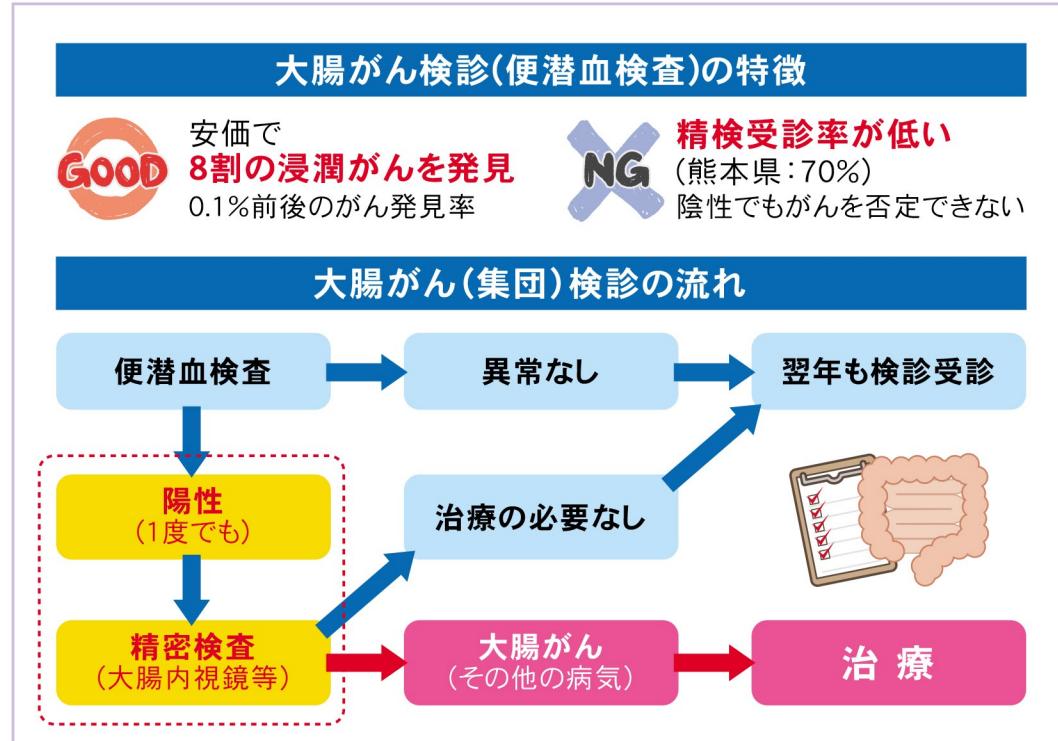


特集

大腸がん検診

便潜血検査と大腸がん検診



40歳以上の方は定期的に健康状態をチェックしておきましょう

大腸がん検診は受診者の負担が小さいのですが80%程度の浸潤がんを拾い上げ、千人に一人くらいの割合で大腸がんを発見してくれる有力なツールです。しかししながら、熊本県では精密検査を受けた方がの70%程度しか精密検査を受けておられません。2017年は3千名以上の方々が精密検査を受けておられませんので、この中の3名前後に大腸がんが潜んでいると考えられます。便潜血反応が一度でも陽性であつたにもかかわらず、過去に精密検査を受けておられない方は、精密検査を受けていただくことをご検討ください。

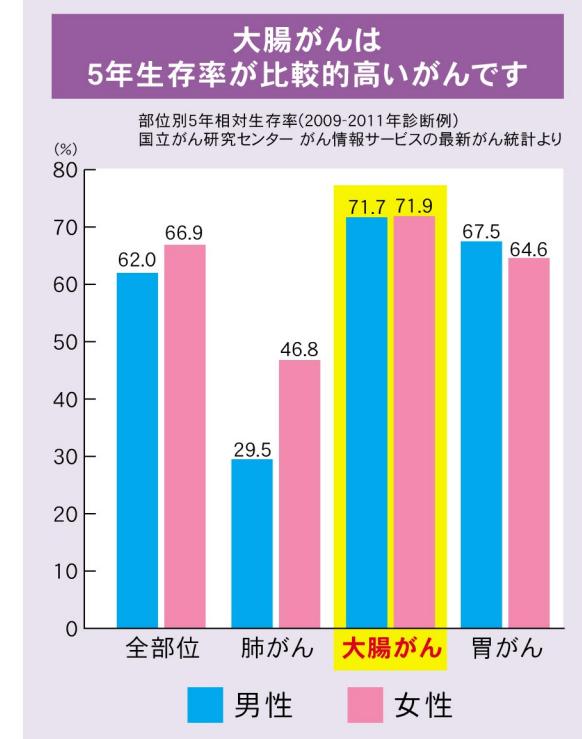
- Point1**
大腸がんは
**早く見つけて
早く治す**
早期のうちに治療すれば
負担も少なく
90%以上が治癒します。
 - Point2**
最初の大腸がん検診は
**自宅で
簡単にできる**
集団検診における
大腸がん検診は便検査です。
内視鏡ではありません。
 - Point3**
早期のうちは
**自覚症状が
ありません**
「異常を感じたら」では
手遅れになる場合があります。
- 大腸がんについての3つのポイント**
-

知っておきたい 大腸がん検診

がん腫別で大腸がん死亡数は2位

	1位	2位	3位
男	肺がん 52,401人	胃がん 28,843人	大腸がん 27,098人
女	大腸がん 23,560人	肺がん 21,927人	膵臓がん 17,452人
合計	肺がん	大腸がん	胃がん

国立がん研究センター がん情報サービスの最新がん統計(2018年のデータ)より



大腸がんの発生は生活習慣と関わりがあるとされています

日本では大腸がんにおける死亡者数がこの半世紀で8倍に急増しており、2018年には5万5以上の方が大腸がんで亡くなられています。反面、大腸がんの5年相対生存率は70%以上であり予後の良いがんです。大腸がん罹患率の上昇の原因として、高脂肪・高タンパクの欧米型の食生活に加え、運動不足・糖尿病なども大腸がんの増加と関連しています。

大腸がん検診は検診費用の多くを公費で負担しております

大腸がんは50歳以上から急激に増加するがんですが、子宮頸がんや乳がんとともに検診を受けていただくことで早期発見・早期治療につながる可能性のある疾患です。がん検診には対策型検診(いわゆる集団検診)と人間ドックに代表される任意型検診があります。対策型検診では市町村が主体となり、2千円程度の便潜血検査が5百円前後で受けることができます。

大腸がん(結腸がん・直腸がん)とは

早期の段階では自覚症状はほとんどなく、進行すると症状が出ることが多くなります。症状としては、血便(便に血が混じる)、下血(腸からの出血により赤または赤黒い便が出る、便の表面に血液が付着する)、下痢と便秘の繰り返し、便が細い、便が残る感じ、おなかが張る、腹痛、貧血、体重減少などがあります。がんが進行すると、慢性的な出血による貧血や、腸が狭くなる(狭窄する)ことによる便秘や下痢、おなかが張るなどの症状が出ることがあります。さらに進行すると腸閉塞となり、便は出なくなり、腹痛、嘔吐などの症状が出ます。大腸がんの転移が、肺や肝臓の腫瘍として先に発見されることもあります。

令和2年(2020年)8月24日(月)

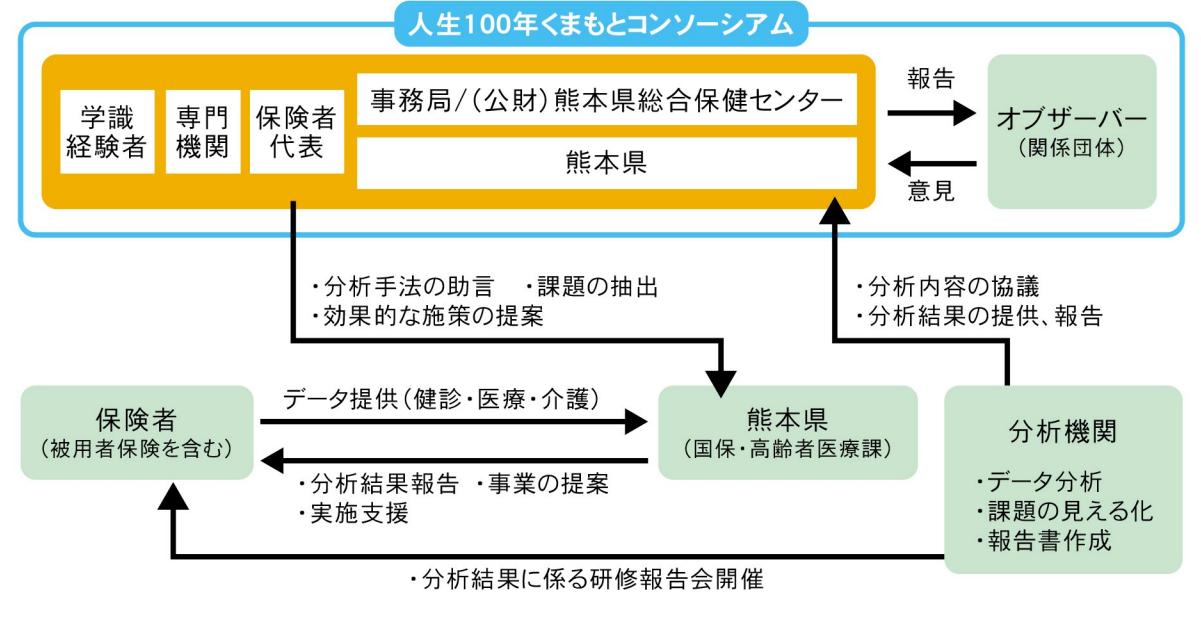
「人生100年くまもとコンソーシアム」事務局が発足!

「オールくまもと」で地域の健康課題の見える化やその対応策を検討するため、「人生100年くまもとコンソーシアム」が設立されました。

当センターは、熊本県からの委託を受け、当該コンソーシアム事務局として事業の企画・運営を行っています。今年度は、医療・健診等データ分析に基づく各地域の対応策の検討・立案を行い、保険者が実施する保健事業が効果的かつ効率的に推進されるよう支援していく予定です。

「オールくまもと」体制による新たな取り組み

- ①被用者保険も含めた保険者間の横断的な医療・健診等データ分析を実施
- ②分析評価やその後の事業展開において、専門的な知見や関係機関との情報共有・連携が重要であり、「人生100年くまもとコンソーシアム」を設立



令和3年度より当センターが使用している健診システムが新しくなります



新システムが稼働することにより業務効率化が図れ、サービスの向上につながります。

新システムへの移行は業者の方や職員同士の打ち合わせ、データの確認などをメインに行っており重要な業務ですが、安定稼働に向けて職員が一丸となって取り組んでおります。

感染症対策としてWeb会議を積極的に行っております



当センターにおいて安心して健康診断をお受けいただくために 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

施設



▲飛沫防止パネルを設置した外来受付

皆様に安心して健診をお受けいただけますよう、常に感染状況を把握し、適宜感染対策の内容を見直しながらスタッフ一同、一丸となってこれからもコロナウイルス感染防止対策に努めてまいります。



巡回



●入館時の検温



●混み合い(密)を避ける検査順番の工夫



●徹底した換気や清拭



疫病退散

AMADIE

お知らせ

2021年4月に 新しいマンモグラフィー検診車が 導入されます



受診者が安心して検査を受けるためにはどうすれば良いか。
このテーマで女性スタッフが中心に開発しました。

視覚的な安心感

ラウンドフォルムの柔らかい形とパールホワイトの色彩が受診者に清潔感と安心感を提供します。

触覚的な安心感

体に触る部分の機械的冷たさを感じさせない素材。そして装置の硬さを感じないようなラウンドシェイプを取り入れました。また、受診者の緊張感を和らげるため、ゆったりと手が置けるようなデザインを採用。これにより受診者は安心して検査を受けられます。



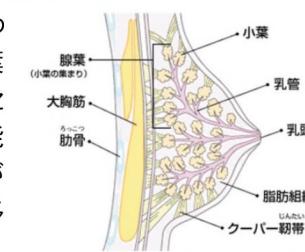
圧迫時の痛みを軽減

当社が独自に開発した「痛みの少ない」圧迫システムを採用しました。しなやかな圧迫板は均一な圧迫が可能となり、更に圧迫圧力により、圧迫スピードが変化する方式は受診者の様子を見ながら痛みの低減と確かな乳腺の伸展を可能としました。



乳がんとは？

年間90000人近く罹患し、エストロゲンと呼ばれる女性ホルモンが深くかかわっています。乳がんの約90%は乳管から発生し、乳管がんと呼ばれます。小葉から発性する乳がんが約5~10%あり、小葉がんと呼ばれます。乳がんは、1セントチほどの大ささになるのに5~8年かかり、小さいうちに見つけると治る可能性の高い病気です。早期に見つかった場合、90%以上は治ります。乳がんが進行するとリンパ節や骨、肺、肝臓など、乳房以外の臓器にがん細胞が転移して、様々な症状を引き起こしたり、命を脅かしたりするようになります。



マンモグラフィーについて

マンモグラフィーは早期の乳がんの唯一のサインである石灰化の発見に優れています。しかし、高濃度乳腺（乳腺の濃度が高く不均一）など一部の方では写りにくくなります。また、1000人が検査を受けると50~100人が精密検査となり、3人程度乳がんが見つかります。



マンモグラフィーの利点・欠点

利点

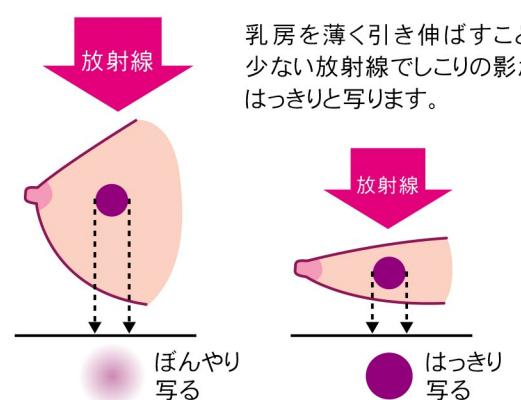
- 石灰化や乳腺の全体像をとらえやすい
- 検診受診の継続によって、乳がん死亡率が低下することが統計学的に証明されています
- 撮影方法が定められており、過去の画像と比較しやすい

欠点

- 痛みを伴うことがあります
- 年齢・乳腺量の個人差により、詳細な診断ができないことがあります
- 妊娠中やその疑いがある時は検査が不可能です

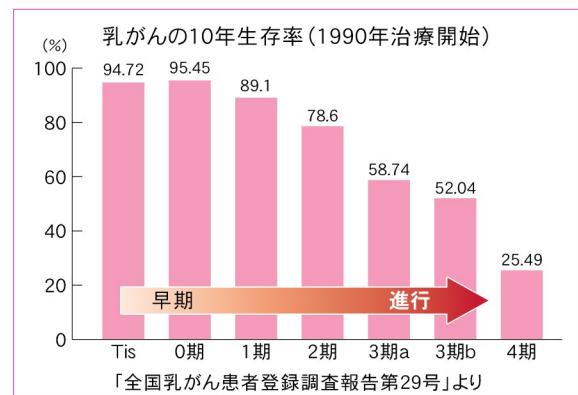
○なぜ、マンモグラフィーは痛いのですか？

A 乳房を圧迫して薄くして撮影することでしこりをより鮮明に写すためです。



早期発見・早期治療で乳がんは治ります

がん細胞が発生して乳管や小葉に留まっている非浸潤性乳がんは手術によってほぼ100%治ります。乳がんをしこりの大きさによって病期別に分類してみると、2センチ以下の1期では、10年生存率が約95%となっています。しかし発見・診断・治療が遅れると病期が進むにつれて治療後の生存率が下がります。



がん検診の目的は、がんを早期発見し、適切な治療を行なうことで、がんによる死亡を減少させることです。

40歳以上の女性は2年に一回、乳がん検診を受けましょう。また、検診の結果が要精密検査(がんの疑いあり)となった場合は、必ず精密検査をうけましょう。



今後とも、検診を受けられる方へ
よろしくお願いします。

